

#912 viDoc RTK rover ! 災害現場で即採用 手軽さに感動と希望



■■ 現場詳細 ■■ 静岡県島田市相賀

河川災害復旧工事

【施工範囲】 距離65m ブロック張り工 283m²

【ソリューション】 Smart Construction Quick3D/viDoc RTK rover/Smart Construction Dashboard

(掲載月：2024年3月)

viDoc RTK rover ! こんな欲しかった !



目からうろこ ! メリットしかない



■■ 導入経緯 ■■

(株)グロージオ 新技術推進課長 石川弘征さん

弊社は今年度Smart Construction Retrofitを2台購入し、更にICT化は進んでいます。常に世間の動向にアンテナをはり、ICT活用で如何に効率よくできるのか、社員みんなで考え、チャレンジしていく、その取り組みが当社の強みでもあります。今回の現場では、施工途中に台風の影響で護岸が削れてしまい、流れた土量を素早く把握したい時に、担当営業から後付けGNSS受信器viDoc RTK roverを使用したSmart Construction Quick3Dの提案がありました。

viDoc RTK roverを使用したSmart Construction Quick3Dは、標定点を設置や計測せずに手軽に点群データが取得でき現況が確認できるとのことで、すぐに活用できると思い即導入を決めました。災害現場では迅速な対応が求められますし、いろいろな現場で大いに役立つと思い、viDoc RTK roverの購入も決めました。弊社では、女性社員がドローン測量していますが、viDoc RTK roverの活用で更に活躍の場が広がることを期待しています。

■■ 導入効果 ■■

(株)グロージオ 工務部 高森久美子さん

通常ドローン測量だと準備に時間がかかります。標定点を設置するために草木を伐採し、河川の対岸側にも設置します。また、トータルステーションで座標も取らなければなりません。時間を掛けて準備をしてドローン測量を行っても、切り立ってえぐれたような面では、上空写真だと映像として映りません。ですが、viDoc RTK roverを使用したSmart Construction Quick3Dでの測量は座標を持っているので、どんな角度からでも撮影ができ、断面もしっかりと出すことができ、土量も早く正確に出すことができました。また橋げたの下は足場も悪く、レーザースキャナーも置けず、勿論ドローン測量もできませんが、Smart Construction Quick3Dなら道路上から危険にさらすことなく撮影ができ、橋げたの下もパッチリ映っていて感動しました ! 実作業は1時間ほどで、データ処理を考えると2日程ですが、準備から考えると、ドローンよりはるかに早く時間を短縮できるし、持ち運びも手軽なので、これならどこへでも測量に行けそうです。もっと使いこなして、点群をとってくるスペシャリストになろうと思います。

(株)グロージオ 様

1949年 創業 経営理念を核とし、社員一丸となり当社が歩んできた歴史・経験を礎としステークホルダーから信頼される企業を目指します。

<https://www.growgeo.co.jp/company/>



新技術推進課長 石川弘征 さん



工務部 高森久美子 さん